

社団法人

香川県作業療法士会ニュース

発行：(社)香川県作業療法士会広報部
事務局：〒769-0205 香川県綾歌郡宇多津町浜五番丁62-1
四国医療専門学校 作業療法学科内
(社)香川県作業療法士会事務局

URL:<http://www18.ocn.ne.jp/~k-ot/> E-mail:kagawa-ot@star.ocn.ne.jp

「絆」を大切に

副会長 松 本 勉

年があけて2月が過ぎました。年度末が近づいてきて何かと忙しいのではと思います。今年は診療報酬と介護報酬が同時改定になるので、その動向が気になるところです。診療報酬改定についての情報では骨子によるとリハビリテーションの充実についてとありました。具体的には回復期リハビリテーション病棟入院料についてより充実した体制の評価や早期からのリハビリテーションについてさらなる評価などが書かれていました。また、介護報酬改定については日本作業療法士協会からの情報では「生活行為向上マネジメント」に基づく作業療法の研究が活かされそうであるとあり、具体的な内容も少し記載されていました。このニュースが届く頃にはもう少し詳細がわかっているとは思いますが、私たちの仕事に関係することなので、その経緯を注意して見守っていきたいと思います。私たちは患者さん、利用者さんや家族に対して機能の向上や生活の改善などを目指して作業療法を行っていますが、この行為に対して医療や介護の点数を請求しています。このことを認識して、作業療法士も診療報酬や介護報酬がどのように定められているのかということやそれがそのように運用されているのかということなどにも関心を持たつようにした方が良いと思います。そして、大切なのは作業療法を行うことで報酬をいただいているという自覚を忘れないようにしないといけないことだと思います。

—閑話休題—

昨年を表す漢字は「絆」でした。「絆」とは広辞苑によると断ちがたい人と人との結びつきとありました。昨年の大きな災害は、人と人との絆がいかに大切だということをみんなに思いおこさせることになりました。私たち作業療法士は人を相手する職業です。私たちは患者さんや利用者さんと向き合い、家族、医療関係者や介護保険関係者など様々な人々へと関わりをひろげています。これは作業療法士として当然のことで、人間としての絆が求められていることを今年は強く感じています。その絆はいろいろであり、強さに違いはありますが、人は支えられたり、支えたりしているということやいろいろな人とつながっているということを忘れないようにして、それぞれの人を大切にしないといけないですね。

四国4県啓発事業について

四国医療専門学校 山川公彦

平成23年9月10日(土)ゆめタウン丸亀にて今年初めての試みとして、「四国4県啓発事業」を企画実施しました。「作業療法の日」に合わせて、四国4県で作業療法のPRを行っていかうというものです。

一般の方に作業療法を知っていただくため、作業体験ブース、自助具及びパネル展示などを行い、啓発部スタッフと会長、副会長が来場者に対し説明をしていきました。ゆめタウン内でのチラシ配りや事前のポスター掲載の努力もありまして、予想以上の多くの方に来ていただきました。リハビリは知っているが作業療法は知らないといわれる方も多く、知名度を高めることを考えればよい機会になったと思われまます。スタッフからも、「地域の人にふれあう良い機会」「もう少しアクティブに活動しても良かったかな」など意見がありました。このような場所で啓発活動をするのは初めてでしたが、地域の方に説明していくことで、利用者様やご家族、そして私たち作業療法士自身にも大きく繁栄されるのではないかと感じました。もっと作業療法の良さを知っていただけるよう、今後も考えて行動していきたいと思ひます。



かがわ福祉・介護フェアに参加して…

麻田総合病院 伊賀智子

11月20日にサンメッセで行われたかがわ福祉・介護フェアに、啓発部に交じらせてもらい、参加させて頂きました。

最初、大きな会場の中で私が想像していた以上のスタッフの数と立派なステージ、たくさんの数の催し物に、まず驚きました。そして、開始と同時にたくさんのお客さんでいっぱいになり、活気あふれるスタートでした。

作業療法ブースでは握力・片足立ちの体力測定と、自助具の紹介、腰痛体操の紹介と作業療法の紹介を行いました。

様々なブースがある中で、みんな興味を持って来てくれるのだろうかと思っていましたが、「私バランス悪いけん自信ないわー」と、恥ずかしそうに来てくれた女性や、「昔は握力50kgあった」と豪語するお父さんの姿がとても印象的で、小さい子供から高齢の方までたくさんの方が楽しんでくれ、作業療法に触れてくれたことがとてもうれしく思いました。

腰痛体操の紹介として置いていたパンフレットを見て、「こんな体操をすればいいんやなー」という声も聞かれ、日常生活で腰痛や肩の痛み等に悩まされている人の多さに改めて驚かされました。

今回、かがわ福祉・介護フェアに参加させて頂いて、たくさんの笑顔に出会えたこと、たくさんの人と触れあえたことは、何とも言えない充実感でいっぱいでした。

また、より多くの人に作業療法のことを知ってもらい、興味を持ってもらえたらいいなと思いました。



第13回香川県作業療法学会 開催報告

会 期：平成24年1月15日(日) 会 場：四国医療専門学校 3号館
 テーマ：「くらしに寄りそう～地域の中での役割を考えましょう～」

学会長 長田 功子



県学会実行委員会は、高松・中讃地区の老健・精神科・回復期・訪問リハ・教育分野の6名で構成し、活動しました。学会テーマを『くらしに寄りそう～地域の中での役割を考えましょう～』とし、特別講演には地域リハビリテーションの分野で第一人者として活躍されている谷隆博先生(株式会社メディケア・リハビリGM、社団法人日本作業療法士協会常務理事)に『在宅リハサービスとこれからのOT』と題してご

講演を頂きました。アンケート結果にもありますように、非常に有益な内容で、各分野を問わず、共感感動し、将来をも見据えた日本作業療法士協会の展望に、誰しもが希望を持ったことでしょう。一般演題の発表は18題でした。尚、公益性を高めるため、他職種、一般を無料とし、広報につとめると同時に、今回初めて、宇多津町、香川県老人保健施設協議会を加え、あわせて15団体より、後援を頂きました。更に開催地の宇多津町の谷川町長様からは心温まる祝辞をいただきました。尚、東日本大震災の被災者支援の活動で、募金箱の設置をし、参加の方々より、義援金を預かりましたので、香川県士会を通じて被災地にお送りします。お陰様で、参加総数は170名(県士会141名、非会員6名、一般・学生23名)でした。このように多くの参加者にも恵まれ、活発な質疑応答の中で、日々の業務を振り返り、考え、より良い作業療法の実践につながる学会になったと考えます。

最後になりましたが、一人職場の私を支え続けてくださった実行委員・運営委員の皆様、谷隆博先生、座長の先生方、また、学会会場の四国医療専門学校様、さか枝うどん店様をはじめ、学会開催に、ご尽力を頂いた皆様方に厚く御礼を申し上げます。



医療法人社団 田村クリニック 末永香織

この度、香川県作業療法学会に参加させていただきました。

各演題発表では、皆様の日々の治療に対する探究心や多くの取り組み等を知ることができ、今後の治療で活かすべくたくさんの刺激を受けました。

また、特別講演の谷隆博先生のご講演では、在宅リハでの実際の取り組みやこれからの在宅にかかわるOTのあり方、可能性について熱く語っていただきました。その中での「地域での成功を目指す療法士へ」というメッセージは強く心に響きました。地域だけでなく、すべてのOTに共通するものであり、今後の臨床の中でさらなる自己研鑽と日々の精進が大切だと改めて実感しました。

第13回 公開講座

医療法人社団 和風会 橋本病院 作業療法士 福井 愛美

今回、第13回公開講座を受講し、脳卒中のリハビリテーションについて治療のみではなく、予防・援助の重要性について改めて考えることが出来る場となりました。

当院では脳卒中の再発で入院される方も多く、再発予防として、生活習慣の見直しや自分自身の状態(血圧・体温・食事量など)の把握も含め指導していく必要があると思いました。現在私達が関わるのは、脳卒中を発症した後のリハビリテーションとして関わる事が大半となっています。しかし、今後はもっと予防の段階に目を向け、周囲の方に脳卒中についての知識、危険因子、予防方法などを知って頂き、意識を高める取り組みが必要であり、今後の課題であると感じました。

また、松井病院中野先生の講演では、自宅で出来るリハビリテーションとして、いくつか上肢や体幹の活動を紹介されていました。自宅復帰後の日常生活について大きく関わることが出来るのが作業療法士という職種だと思います。なので、病院内の中でのリハビリテーションにとどまらず、自宅復帰後の生活や活動維持を支援していくのも、大きな役割であると感じました。自宅での円滑な日常生活の獲得を図り、社会参加への支援、QOLの向上へと繋げる役割があると思えます。これからも、脳卒中患者様に対して、作業療法士としてより良い支援が出来るよう考え、努めていきたいと思えます。

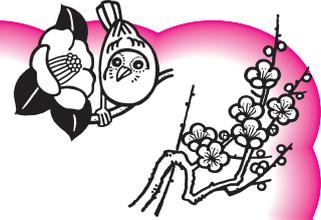


～リレーエッセイ 26～

三船病院 滝川 栄二

担当しているある患者様から「あそこのモーニングいいですよ」との垂れ込みがあった。外来OTの患者様が地活のプログラムで行ったことがある場所らしく、幸い家の近所ということもあり家族を連れて散歩がてらモーニングを食べに行った。決して料金は安くはないが、適度な狭さと小洒落た雰囲気を持つそこには穏やかな時間が流れていた。家族が騒がしく食事をしている横で、ふと「どんな表情でどんな話をしていたのかな？」などと考えてしまう。地域の仲間と穏やかに過ごす患者様のことを考え、その患者様にとって穏やかに社会生活を送るための癒しの一部になっていることは間違いのないようである。そんな機会を提供したのがOT発信ではないことが正直悔しい。私の病院の外来OTの規模は非常に小さく制限も多いが、規模に関係なく私は患者様が誰かに自慢できるほどの活動や機会、充実した時間を提供できているのであろうかと考えてしまう。それだけが全てではないことはわかっている。むしろ多職種チームとして考えれば結果として患者様にとって有意義な活動を提供できていることは喜ばしいことである。ついルーチン化しがちな日常の関わりではあるが、OTとしての治療と考えを今一度明確にし、少しでも患者様の充実に繋がるよう紆余曲折しつつ、またOTとしての一年を始めていきたいと思う。

新入・転入会員紹介

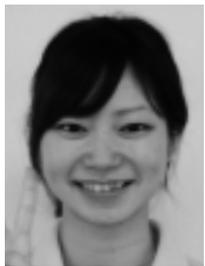


今年度も多くの方が県士会に入会されました。これからよろしくお祈いします。(順不同・敬称略)

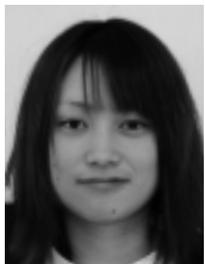
①氏名 ②生年月日 ③出身地 ④出身校 ⑤勤務先 ⑥趣味・特技 ⑦職歴 ⑧自己アピール ⑨抱負



①津馬紗矢果 ②昭和63年5月14日 ③香川県 ④四国医療専門学校
⑤三豊市立西香川病院 ⑥旅行、スポーツ ⑦なし ⑧笑顔と活発さは誰にも負けません。 ⑨人の役に立ち、人に求められる【人】になります。



①塚本紘子 ②平成元年3月20日 ③愛媛県 ④専修学校愛媛医療専門大学校
⑤三豊市立西香川病院 ⑥旅行 ⑧好奇心旺盛で趣味活動増やし中です。 ⑨患者さんの生きがいに着目していきたいです。



①松江沙祐里 ②昭和63年6月27日 ③香川県 ④四国医療専門学校
⑤三豊市立西香川病院 ⑥写真をとること ⑦なし ⑧粘り強いです。 ⑨患者さんのいろんな笑顔をひきだせれるようなOTになりたいです。



①蒔田亜吐夢 ②平成元年7月2日 ③愛媛県 ④穴吹りハビリテーションカレッジ
⑤麻田総合病院 ⑥1人遊園地(わしゅうざん) ⑦なし ⑧お人好し ⑨臨床での応用力に長けたOTを目指します。よろしくお祈い致します。



①亀山多喜子 ②昭和61年5月11日 ③香川県 ④四国医療専門学校
⑤川口医院 ⑥おかし作り ⑦なし ⑧目の前の患者様と一生懸命向かい合っていきます。 ⑩必要とされるOTになりたい。

香川県作業療法士会常任理事会・部局長会抄録

香川県作業療法士会 部局長会 〈第3回〉

日 時：平成23年9月26日(月)19:00~21:00

場 所：四国医療専門学校

出席者：植野、松本(勉)、前田、石井、福家(代理)、戸田、
山川(代理)、谷淵、長田、松本(嘉)

欠 席：香川、田埜、澤田、池知、木村、小松

【報告】

1. 常任理事会報告

常任理事会議事録参照。

一般社団法人化について、日本作業療法士協会と同じような組織編成を考えている。大まかな組織としては、部を統合していく。(学術・教育部・制度対策部・広報部・事務局)各部に担当理事を設けていく方向。外部理事をなくし内部理事だけで運営していきたい。理事は10名で予定している。

来年度(24年度)から可能なら新体制を実行していくが、実質難しいならば25年からスタート。(目標は24年度施行)

新理事に関しては、現理事から個別で依頼をしていく。

石井、福家(代理)先生より、学術部が広い領域であり、かなりの負担が出てくるのではないかと。公開講座は学術的な内容より、一般の啓発に近い内容のものではないかと。

会長より、現状は学術部で公開講座を行うように考えているが、ご意見を踏まえ常任理事会で検討していく。

公開講座は研修会でなければならないか？ また、広報部でも研修会を経験する方が会員の教育の一環ではないか。→貴重な意見として、前向きに検討する。

会長より、日本作業療法士協会の組織図から都道府県作業療法士会という組織がなくなるであろうと四国支部長より連絡があった。

→松本副会長：代わりとしてOT協会との連絡はどうするか？ 代議員から情報が県士会に流れると思われる。

他に四国支部としては現状のように続けていくことが望ましい。特に、四国作業療法学会は現在の通り行うことを望む。

他の意見として、

・四国作業療法学会や四国支部ニュースは一度この機会に振り返りをして行うのか辞めるのかを考えていく必要があるのではないかと。

・もっと、香川や四国で協会の研修会等をこちらに引き込むような活動が出来れば良いのではないかと。

・香川県だけでは、大きな他府県と人数などとは規模が違う。そのため四国という単位で考えていく必要があるのではないかと。四国全体で考えていく方向が良いのではないかと。

・支部という組織ではなく、4県で各県代表者を介して活動していく必要があるのではないかと。(県士会長会議の復活も一つの案)すぐに決定するのではなく、1~2年かけて話し合いしていけばよいのではないかと。等の意見が挙がった。

四国支部は廃止で四国では何らかの形で活動をしていく方向が良いのではないかと？

リーダー研修受講は12月10日、11日で開催。部長・副部長が参加予定。詳細は後日インフォメーションしていく。

2. 各部・委員会報告

事業部：8月28日の専門研修会開催。前日の懇親会は20名参加。参加者としては、会員53名。非会員15名(他県士会8名)学生2名。(別紙参照)

教育部：第3回現職者研修会を開催についての報告がなされた。第4回の現職者研修会を10月13日。宇多津クリニックで行う。

福利部：来年度の計画についての報告がなされた。

サッカー大会の報告。啓発部の事業として今年は男性3名で参加し、広島県東部と一緒に参加。

啓発部：(別紙参照)OT説明会についての報告がなされた。四国4県啓発事業についての報告がなされた。「かがわ福祉・介護フェア」について説明がなされた。渉外・広報部の部員から話し合い(会議)から参加を希望。部から参加人数を決めてもらう方向で調整する。

リハ特研：資料待ち

広報部(代理報告)：次回ニュース原稿を収集中。次回部会は10月25日予定。

学術部(代理報告)：10月23日の第2回学術研修会についての報告がなされた。会長より、今後研修会等の部が中心となる事業での挨拶は担当部長で行うようにしていく。他は学術誌と次年度の活動計画について報告がなされた。

保険部：報告なし。

渉外部(代理報告)：賛助会員、現在13施設からの入金を確認し、お礼状発送完了。賛助会員入会希望団体についての報告があった。株式会社 創芸(入会希望)

財務部(代理報告)：現在の入金状況を報告。23年度分は398名からの入金確認。まだの方について現在連絡している。

3. その他(県学会・公開講座など)

県学会：今週木曜日に会議予定。現在16題の演題がきている。参加者の中には、自分の施設の演題が終了したら他の演題などは無視して会場から帰るなどの非常識な行動がみられた。広報ニュースで会員へインフォメーションしていく。

公開講座：後援はほとんど完了。S T士会に後援依頼が届いていないとのことなので再度依頼して了解を得る。当日、公開講座の冊子やチラシを配布する。NHK高松放送局より、後援依頼用紙の書式変更があった。各部局長に用紙を配布。(旧、新の書式)今後、後援依頼は一般などを対象にした場合には必要。会員を中心に行う場合の後援依頼は行わない方向でいく。

(社)香川県作業療法士会 常任理事会 〈第5回〉

日 時：平成23年9月21日(水)19:30~21:00

場 所：四国医療専門学校

出席者：植野英一、松本 勉、前田悠志、松本嘉次郎

【検討議題】

1. 植野会長の報告

(1) 香川県リハビリテーション協議会(14時~15時50分；県庁)へ出席

① 平成22年度 地域リハビリテーション事業報告(香川県リハビリテーション協議会、県地域リハ支援センター事業、各地区地域リハ支援センター事業)

② 平成23年度 地域リハビリテーション事業計画(前記①と同様)

③ 地域リハビリテーション関連事業について(介護予防について、医療連携体制推進事業、関係団体の主な活動状況) ※関係団体の主な活動状況について、香川OT士会から報告しました。

④ 地域リハ事業について、⑤今後の地域リハ事業について、の議題で協議会が行われました。

※県が医師会に対する称賛。他の職種と協同し県民に対する活動を行っていることから。

今後OT士会も他の職種との協同し活動をしていくことの必要性がある。

(2) 平成23年度 香川プライマリ・ケア研究会役員会(19時~20時；香川県医師会館)へ出席

平成24年1月28日(土)・29日(日)に行われる学術集会・合同集会の①メインテーマ、②プログラム、③特別講演講師名のお知

らせ、④一般演題に関する決め事を話し合いました。

①は、「災害医療とプライマリ・ケア」に決定。参加費無料。

②③は、28日：14時～16時一般演題発表 16時20分～15時30分特別講演「災害時のプライマリ・ケアについて(仮)」香大医学部の黒田泰弘先生 18時～懇親会

29日は省略 ※メインは医師を対象としている。

④については、藤本OT(回生病院)に連絡済み 26日に詳細を渡す。

(3) リハビリ特別研修会の合同理事会を開催

10月19日(水) 19:00～ 穴吹リハビリテーションカレッジ
常任理事及び財務部長が出席予定。

2. 一般社団法人化について、組織編成について

組織編成において、理事の構成を考える必要がある。理事は10名を予定。

案として、会長1名、副会長3名。各部の統括は他の理事で行い、会長、副会長は対外的なところを中心に行っていく。部として、日本作業療法士協会と同様な組織編成を考え、学術部、教育部、制度対策部、広報部、事務局、渉外担当で考えている。

平成22年度までの組織	一般社団法人後の新体制
学術部 事業部 リハ特研 公開講座 県学会	学術部
教育部	教育部
保険部 福利部 渉外部	制度対策部
広報部 啓発部	広報部
事務局 財務部	事務局

理事候補者として、小松先生、石井先生、澤田先生、長田先生、中川先生、喜井先生が挙がった。

必要書類として、定款自体の修正はほとんど行わず、組織図および事業計画・予算案、過去2年分の事業内容、その収支。財産目録。

リーダー研修受講候補者として合計15名を予定。

3. その他 (「かがわ福祉・介護フェアについて」、香川県医療推進協議会役員会の開催について、NHKより後援依頼についての問い合わせ)

香川県医療推進協議会役員会は植野会長が出席。

後援依頼を行う際には、事務局は四国医療で担当者の施設を別に記載して相手先に通達し、事務局にも連絡を行う。

四国新聞掲載インタビュー(大杉脳神経外科の澤田先生)は先週金曜日に終了したとのこと。

四国支部について、事務局を検討していく必要がある。他に引き継ぎについて現の四国支部長及び事務局に問い合わせしていく。

香川県作業療法士会 部局長会 (第4回)

日 時：平成23年10月24日(月)19:00～20:10

場 所：四国医療専門学校

出席者：植野、松本(勉)、前田、石井、小松、木村、戸田、

山川(代理)、谷淵、長田、松本、田埜、澤田、高尾(代理)

欠席者：池知、香川

【報告】

1. 常任理事会報告(リーダー研修会、医務国保課立ち入り調査)

リーダー研修会(別紙)：研修会についての報告を行う。各県参加15名。合計60名。部長に参加をお願いする。今月末までに参加の有無を事務局に返事をしていく。部長の参加が不可の場合は副部長を予定。その後、余裕がある場合は今後県士会を担うであろう会員に声かけしていく。

立ち入り調査について

今後の県士会について、名称の変更が行われるが内容としては現行の活動をしていく。予算に関して今後検討していく。

常任理事会において、ヒアリングを希望する部は参加していただく方向。

都道府県連絡協議会は今後も継続していく方向である。次年度の支部長は香川県士会会長が担当。

2. 各部・委員会報告

教育部：11月13日(日) 事例報告10名予定。研修会終了後今年度修了。場所：宇多津クリニック

保険部：11月に部会。アンケート調査を行う予定。年末を避けた形で配布していく。
(年内をめどに)

広報：明日広報部会予定。原稿はまだ集まってない。ニュース発行は11月後半予定。福祉フェスタ参加者を収集中。

学術部(別紙)：第2回学術研修会の報告。学術誌は1月までに配布していく予定。次年度の予定としては、「脊髄損傷・頸髄損傷について」と「鬱病(現代うつも含む)について」で企画。講師交渉を行っていく。

※備品台帳を作成(事務局)

啓発部：かがわ福祉・介護フェアについての準備報告がなされた。28日に部会予定。渉外から2名。広報部から2名。(伊賀、東條)手強い。

リハ特研：今月から11月にかけて後援依頼書を送付予定。

事業部：報告なし。

渉外部：報告事項なし

財務部：未納に対する協力を部局長に依頼。

事務局：入会、退会、異動についての報告。

福利部：報告事項なし

3. その他(県学会・公開講座など)

県学会(別紙)：

公開講座：チラシ、冊子の印刷をしていく方向。早めに作成し関係団体に配布していく予定である。原稿も集まってきた。

11月3日香川県医療推進協議会および柔道整復師会の研修会が行われる。予算自体は、各部の予算案を出していただき常任理事で予算を検討していく。

(社)香川県作業療法士会 常任理事会 (第6回)

日 時：平成23年10月19日(水)20:15～21:23

場 所：穴吹リハビリテーションカレッジ

出席者：植野英一、松本 勉、前田悠志、松本嘉次郎

【検討議題】

1. リーダー研修会について (別紙参照)

趣意書は24日までに支部長より連絡がある予定。月曜日の部局等会議にて参加者を募る。

参加人数は、植野、松本勉、前田、松本嘉は確定。残り11名。参加者としては、現在の士会①各部長・委員長②副部長③今後、県士会活動における中心となるであろう会員。上記①～③でメンバーを募っていく。

2. 10月27日(木)医務国保課立ち入り調査の件

現在、27日の立ち入り調査の書類等を準備している。まだ、書類に関しては準備が完了していない状態。

できるだけ24日の部局長会議までには間に合わせていきたい意向である。

3. 来年度の各部・委員会の事業・予算等の件

今まで通りで事業計画を立ててもらう方向。部の編成を行う予定ではあるが、事業・予算に関しては現在の部局長で来年度計画を立ててもらう。

各部の部員の増員を考えていく方向。同じ部員のみでの運営になっているため色々な会員が士会の活動に参加してもらうようにする。

各部でヒアリングを希望する部に関しては、常任理事会に参加してもらうようにする。

4. その他

理事(内部・外部)の割合。外部が必要かどうかの質問を医務国保課に質問をしていく。

一般社団法人への移行で、予備費などは寄付しなければならないのか。お金の移行が可能かどうか？

協会の代議員：植野・前田・松本が立候補。

一般社団法人化に関して、解散が必要なのか？移行で可能であるのか？の確認を行う。

部局案内

保険部『県士会員所属施設における認可形態等に関するアンケート調査』のご報告

- アンケート郵送数：122施設
- アンケート回答数：106施設
- アンケート未回答：16施設(内、5施設は退職・異動・育児休暇中などのため、回答不可)
- アンケート回答率：90.6%(有効回答数117施設)

平成23年12月8日より約2週間の期間、県士会員所属の122施設(養成校2校を除く)に対し、アンケート調査を実施致しました。この調査は、各施設においてどのような医療・介護保険サービスを提供しているか、また提供できるかという点について現況把握を目的に実施致しました。

次年度(平成24年度)4月1日には、6年に1度の『診療報酬・介護報酬』同時改定が実施されます。本アンケート調査により、今後各施設への適切なアンケート調査の送付や、会員の皆様からの問い合わせに対応することが可能になると思われます。

今回のアンケート調査にご協力いただきました、各施設の代表者の皆様には厚く御礼申し上げます。今後も数年単位で定期的に調査を実施する予定となっておりますので、その際はご協力をよろしくお願い致します。尚、調査内容について、公表予定はありません。(保険部で管理致します。)

未回答の施設様については、今年度内に再度調査のご依頼を予定しております。

保険部長 田埜篤司

福利部より

昨年末に行わせて頂きましたアンケートの結果のご報告をいたします。142枚の回答を頂きました。参加したいものの上位3つは、

- ①他の施設の見学ツアー
- ②スポーツ大会
- ③ACTIVITYの教室

でした。

今後の参考にさせていただきます。ご協力、ありがとうございました。

福利部部长 戸田洋子

Information

〈広報部より〉

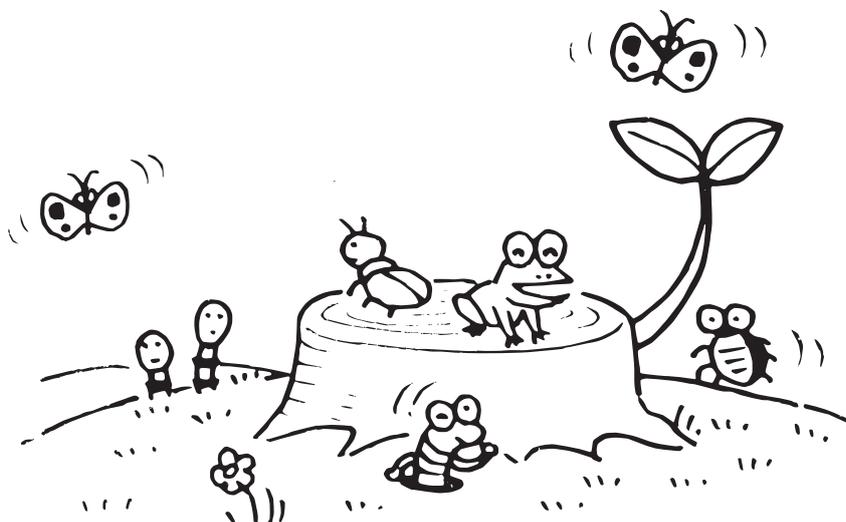
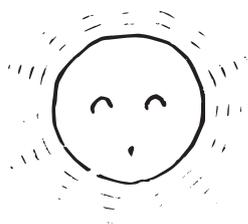
○他県士会ニュースが届いております。

北海道士会 No.98(11月号)、99、Vol.28	山梨県士会 No.78 滋賀県士会 第59号	高知県士会 114号 福岡県士会 第106号
秋田県士会 Vol.28、No.2	京都府士会 No.131 京都府保険医協会	宮崎県士会 作業療法士会ニュース Vol.59
山形県士会 No.94	大阪府士会 Vol.26、No.150、151	佐賀県士会 Vol.1
福島県郡山健康科学専門学校	兵庫県士会 No.4	熊本県士会 85号
群馬県士会 第106号	島根県士会 Vol.24	香川県医師会週報 第1456~1460号
東京都士会 No.141	岡山県士会 No.89	社団法人日本介護福祉士会 Vol.106、107
神奈川県士会 No.152	広島県士会 178、179号	公益財団法人テクノエイド協会 Vol.5
新潟県士会 No.102	山口県士会 No.190~192	
石川県士会 No.81	徳島県士会 No.68	
長野県士会 No.157、158		

事務局連絡

入 会 亀山多喜子 (川口病院)
津馬紗矢果 (西香川病院)
津谷 修司 (三光病院)
蒔田亜吐夢 (麻田総合病院)

異 動 酒井 智美 (岡病院⇒自宅)





医療法人社団和風会

橋本病院

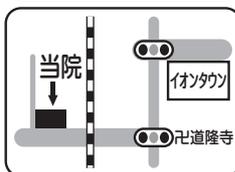
- 内科 ●外科 ●整形外科 ●リハビリテーション科
- 泌尿器科 ●精神科 ●リウマチ科 ●心療内科 ●放射線科

◎診察時間 / 8:30~12:30, 13:30~17:30
 ◎診療日 / 月曜~土曜 (木曜は午前のみ)

香川県三豊市山本町財田西902番地1 TEL: 0875-63-3311
<http://www.wafukai-hasimoto.jp/>
 E-mail: wafukai@gaea.ocn.ne.jp

心療内科・精神科・神経内科・内科

医療法人 しおかぜ病院



心の健康相談
 院長 前田 謙二 副院長 臼杵 豊之 副院長 大原 秀夫
 診療時間 月~金 午前 9:00~12:00
 午後 1:30~ 5:00
 土 午前 9:00~12:00
 入院設備 有り 駐車場 有り

多度津町堀江4-3-19 ☎0877-33-2545



学校法人穴吹学園

豊穴吹リハビリテーションカレッジ

厚生労働大臣指定 理学療法士作業療法士養成施設

理学療法学科 / 3年制 / 40名

作業療法学科 / 3年制 / 40名

3年間で確かな医療技術と
人間性を身に付けます。



資料請求・お申込み

フリーダイヤル 0120-46-3485
 しろろ さがしはGO!
www.anabuki-college.net/ark/



医療は『手当て』

- 鍼灸マッサージ学科
- 鍼灸学科 柔道整復学科
- 理学療法学科 作業療法学科
- 看護学科
- スポーツ医療学科



学校法人 大麻学園 -ESTABLISHED 1956-

四国医療専門学校

〒769-0205 香川県宇多津町浜五番丁62-1
 TEL(0877)41-2323 URL <http://www.459.ac.jp/>

